

3級 学科試験問題

1. 試験時間 60分

2. 問題数 25題 A群（真偽法25題）

3. 注意事項

(1) 携帯電話、腕時計型端末の使用は禁止します。（電源を予め切り、バッグ等にしまって下さい）

(2) 机の上に受検票及び筆記用具以外のものを置いてはいけません。

(3) 電子式卓上計算機、その他これと同等の機能を有するものは、使用してはいけません。

(4) 試験官の指示があるまで、この表紙を開けてはいけません。

(5) 試験官の指示に従って、試験問題のページ数を確認して下さい。

もし、異常があった場合には黙って手を挙げて下さい。

(6) 解答用紙はマークシートです。必ず鉛筆又はシャープペンシルを使用して下さい。

(7) 解答用紙には、等級、受検番号、氏名を必ず記入し、受検番号の欄は、受検区分と受検番号を必ずマークして下さい。

(8) 試験官の指示に従って、試験を開始して下さい。

(9) 問題は、A群（真偽法25題）の25題です。

真偽法は、問題の内容が正しいか誤っているかを判断し、解答用紙に正か誤の、どちらか一つを記入します。

(10) 試験中、質問があるときは、黙って手を挙げて下さい。ただし、漢字の読み方を含めて、試験問題の内容についてはお答えできません。また、退室後は試験が終了するまで再入室ができません。

(11) 試験終了時刻前に解答ができあがった場合は、黙って手を挙げて試験官の指示に従って下さい。試験開始後30分間は退出できません。

(12) 試験中にトイレに行きたい場合は、黙って手を挙げて試験官の指示に従って下さい。

(13) 試験終了の合図があったら、筆記用具を置き、試験官の指示に従って下さい。

(14) 試験終了後、解答用紙は提出して下さい。問題用紙は持ち帰って下さい。

■ A群（真偽法）

1. ステンレススチールは、錆びない金属である。
2. 保護手袋は、使用後には裏返して洗ってから乾燥させる。
3. 電気機械を使用するときは、安全のために漏電ブレーカーや、過電流ブレーカーを使用する。
4. トイレ清掃は、衛生面で特に注意することが多い場所である。
5. 事務室での日常清掃は、毎日決められた作業を限られた時間で行う作業である。
6. コンセントには、普通 15V の電圧がかかっている。
7. 建築物衛生法（略称）に定められた特定建築物は、延べ床面積が 3,000 m²未満である。
8. ほこりや汚れには、各種感染症の原因となるものなどが含まれている。
9. 弾性床材には、ビニル系、リノリウム系、ゴム系およびカーペット床材が含まれる。
10. 木材は加工しやすく、床に限らず壁、建具などの材料として使用されている。
11. 風除室は、外気やほこりが、直接建築物内に入り込むことを防ぐ効果がある。
12. コンクリートは、弱酸性である。
13. 計量カップは、洗剤や床維持剤を正確に計る器具である。
14. ビルクリーニングの 5 原則は、建材・汚れ・洗剤・作業方法・建築物衛生法の知識である。
15. かさ高固着物は、物理的な力によって除去するのが一般的である。
16. 廃棄物の集積所においては、衛生、防災、整理整頓に努める。
17. 建築物内で廃棄物が散乱していると、美観が損なわれる。
18. 建築物を清潔に保つためには、汚れの予防を重視することである。
19. 重量物の運搬には、台車などを使い、無理をしないようにする。
20. 廃棄物の集積所は、少なくとも 2～3 日分の廃棄物を貯留できる広さが必要である。
21. エレベータの扉についた手あか汚れは、乾いたタオルで拭き上げる。
22. 清掃作業は、常に建築物全体の環境に配慮して実施する。
23. 清掃従事者の事故原因は、転倒、転落・墜落で全体の大半を占める。
24. 清掃作業においては、常にサービスの精神を忘れないようにする。
25. pH（ピーエイチ）が 11 を超えるものを、酸性という。

3級 学科試験問題

< 正 解 >

A群 真偽法	
設問	解答
1	誤
2	正
3	正
4	正
5	正
6	誤
7	誤
8	正
9	誤
10	正
11	正
12	誤
13	正
14	誤
15	正
16	正
17	正
18	正
19	正
20	正
21	誤
22	正
23	正
24	正
25	誤